

(1) 第12回九州・四国スカンビオカップ（精神障がい者のフットサル大会）

スカンビオとはイタリア語で「交流」を意味しています。イタリアでは、年齢・性別・人種・貧困・家庭環境・障がいなど、あらゆる違いを超えて社会連帯を目指したフットボール文化が認識されており、イタリアでは、1990年代から精神障がい者の方の症状の安定や社会生活の回復のためにサッカーを治療的に取り入れています。

日本では2007年に大阪で「第1回スカンビオカップ」が開始されました。「九州・四国スカンビオカップ」については、2008年から福岡大学のサッカー場で開催されています。今回は、12施設12チーム、総勢約150人の選手が参加し、福岡大学医学部精神医学教室が運営に携わっています。

(2) 障がい者サッカー体験・交流会

今回は、ブラインドサッカー、デフサッカー、ソーシャルフットボールの体験・交流会を開催します。

ブラインドサッカーは、アイマスクを着用し、音のなるボールで視覚障がい者がプレーするサッカーであり、2020年に開催される東京パラリンピックにおいて実施される競技としても知られています。

デフサッカーとは聴覚障がい者のサッカーのことであり、競技中は補聴器を外すことが義務付けられていることから「音のないサッカー」の愛称で呼ばれています。

ソーシャルフットボールはイタリアで行われている人種、性別、年齢、貧困、家庭環境、障害などあらゆる違いを越えて社会連帯を目指したフットボール文化です。日本の精神障がい者のフットサルは、この考えに感銘を受けて「ソーシャルフットボール」と呼ばれています。

また、大会関係者や来場者の方を対象とした上記障がい者サッカーの体験会を開催するほか、ソーシャルフットボール選手とデフサッカー選手とのミックスチームでの障害を越えた交流戦（フットサル）も行います。